

クロス部材の4面同時立向自動溶接装置 CVF 溶接装置

機器・オプト事業部 機器部 設計・製造グループ 部長 中村 雅敏

CVF 溶接装置は門型クレーン装置に吊り下げられ、十字すみ肉部4ヶ所を同時に溶接するものです。装置は吊り下げ部、4台の溶接ヘッド、走行用レール、溶接電源、および制御装置、操作ペンダント等から構成されており、立向すみ肉溶接の能率向上に貢献します。

【特徴】

- 門型クレーン装置に吊り下げ、十字すみ肉溶接(4隅)を同時あるいは個別に立向自動溶接を行います。
- 溶接中は倅い機構により溶接線を倅いしますので、常時監視する必要はありません。
- 3種類の溶接条件を制御盤に記憶することができます。
- 全体の操作は一つの操作ペンダントにより行うことができます。

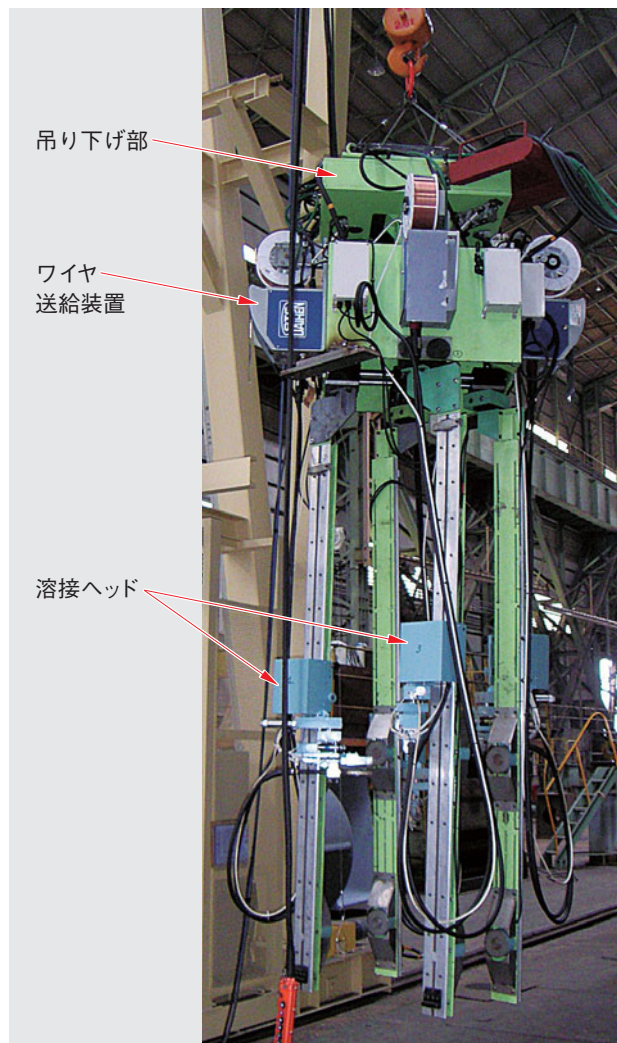
【用途】

造船・橋梁などの各種立向すみ肉溶接

立向ビード外観例



装置全体の外観



CVF 溶接装置の主仕様例

項目	仕様
適用姿勢	立向すみ肉溶接
台車昇降速度	約 30 ~ 160 mm/min.
オシレート回数	約 10 ~ 53 回/min.
オシレート停止	両端、中央 (0.1 ~ 0.8 秒)
倅い方式	スプリングによるコーナー押付け倅い
倅い範囲	50mm
レールのセットと退避	エアシリンダーによるリンク方式